

募集

創業応援塾受講者

- 日時 11月24日(日)、12月1日(日)・8日(日)／午前10時～午後5時
- 会場 白河商工会議所(道場小路)
- 内容 創業に必要な基礎知識や計画作成に関する講座
- 対象 創業に興味がある、準備中、考えている方などで、全3回の受講が可能な方
- 受講料 3,000円
- 申し込み・問い合わせ先

景観まちづくりシンポジウム

- 日時 11月23日(祝)／午後2時～5時15分
- 会場 市立図書館多目的ホール(道場小路)
- 内容 ▽第1部 講演「景観からのまちづくり」／講師 東京大学アジア生物資源環境研究センター 堀繁教授 ▽第2部 パネルディスカッション「白河における景観まちづくり」／景観による地域の活性化を目指すために」

児童虐待を見つけた場合はご連絡をお願いします

11月は児童虐待防止推進月間です。「虐待を受けたと思われる子どもを見つけた場合は、ご連絡ください。連絡した方が特定されないように、秘密は厳守します。子どもを守るためにご協力をお願いします。」

《連絡先》
家庭児童相談室 ☎②1150 / 県中児童相談所白河相談室 ☎②5648

白河商工会議所 ☎③3101
白河まちなか逸品めぐりツアー

- 日時 12月7日(土)／午前11時～午後2時30分
- 定員 16人 ※先着順
- 参加料 700円(昼食代込)
- 申込期限 12月5日(木)まで
- 申し込み・問い合わせ先 白河商工会議所 ☎③3101

パソコン教室

- 日時 1月15日(水)～2月7日(金)(毎週月・水・金曜日)／午前9時～正午
- 会場 市産業プラザ人材育成センター(中田)
- 内容 パソコン操作の入門
- 定員 20人 ※先着順
- 受講料 1万円
- 申込開始 12月2日(月)から
- 受付時間 午前9時～午後5時 ※平日のみ
- 申込方法 受講料を添えて、センター窓口へ直接お申し込みください。
- 同センター ☎②3512

案内

臨時納税窓口開設

- 日時 11月14日(木)～20日(水)／午前8時30分～午後8時
- 会場 本庁舎収税課(1階)
- 期間中、特別な事情により納付することが困難な方のための納税相談も行います。納付が困難なことを説明できる書類をお持ちのうえ、お越しください。
- 本庁舎収税課 内2135

狩猟解禁

- 日時 11月15日から平成26年2月15日まで(猪は3月15日まで)
- 期間中、狩猟者はルールを守り、野山へ出掛ける方は十分に注意してください。なお、狩猟ができるのは、狩猟免許と登録証を所持する方に限られ、それ以外の方が狩猟すると法律により罰せられます。
- 本庁舎農政課 内2227

人権擁護委員

人権擁護委員として、次の方が10月1日から法務大臣より委嘱されました。お気軽にご相談ください。

- ▽近藤茂男(表郷金山) 芳賀敏子(大信下小屋)
- ☎ 福島地方税务局白河支局 ☎②1201

女性に対する暴力をなくす運動

11月12日から25日までは、「女性に対する暴力をなくす運動」の推進期間です。どのような暴力でも我慢せず、相談してください。

- DV相談ナビ(お近くの相談窓口を案内します) ☎0570-0155210

中央老人福祉センターの臨時休館

12月1日(日)は、館内工事のため休館します。ご不便をお掛けしますが、ご協力をお願いします。

- 社会福祉協議会 ☎②1159

- 入場料 無料 ※要申込
- 申し込み・問い合わせ先 本庁舎まちづくり推進課 内2747

女性の人権ホットライン強化週間

- 日時 11月18日(月)～24日(日)／午前8時30分～午後7時
- 日時 23日(祝)・24日(日)は午前10時から午後5時まで
- 内容 女性が抱える人権問題の電話相談(秘密厳守)
- 電話番号 0570-01070-810(相談は無料)
- ※強化週間以外の日(平日のみ)も午前8時30分から午後5時15分まで相談に応じます。
- 福島地方税务局人権擁護課 ☎024-534-1994

合同就職面接会

- 日時 11月25日(月)／午前11時～11時40分(就職支援セミナー)、午後1時～4時(合同就職面接会)
- 会場 郡山ビューホテルア

糖尿病予防特別講演会

- 日時 11月30日(土)／午後1時10分～3時30分
- 会場 市立図書館多目的ホール(道場小路)
- 内容 ▽講演「糖尿病はなぜ怖い?」▽講師 県立医科大学医学部医学科 佐藤博亮准教授
- 定員 150人
- 入場料 無料
- 健康増進課(中央保健センター) ☎②2112

心の健康相談会

- 日時 11月27日(水)／午後1時30分から
- 会場 中央保健センター(北中川原)

心の健康セミナー

- 日時 11月29日(金)／午後2時30分～4時30分
- 会場 市立図書館地域交流会議室(道場小路)
- 内容 ▽講演「うつ病とアルコールと自殺の関係」▽講師 東北会病院 石川達院長
- 入場料 無料
- 申込期限 11月20日(水)まで
- 申し込み・問い合わせ先 県南保健福祉事務所 ☎②5649

放射線なんでも相談会

- 日時 11月30日(土)／午前10時～正午
- 会場 中央保健センター(北中川原)
- 申込期限 11月22日(金)まで
- 申し込み・問い合わせ先

特定疾患見舞金

健康増進課(中央保健センター) ☎②2112

特定疾患患者と慢性透析療法を受けている方に、年間3万円の見舞金が支給されます。今年度、まだ申請を行っていない方は、印鑑・特定疾患医療等の受給者証(平成25年4月1日現在の資格が確認できるもの)・本人または保護者名義の預金通帳を、本庁舎社会福祉課または各庁舎市民福祉課へお持ちください。

- 申請期限 12月27日(金)まで
- 本庁舎社会福祉課 内2714

冬季の省エネ

冬季は、暖房機器の使用などで、電力の使用量が増え、地球温暖化の大きな要因となる二酸化炭素の排出量が増加します。

暖房の設定温度は20℃を目安に適温暖房を心掛け、省エネに努めましょう。

- 本庁舎生活環境課 内2164

案内

市有地をお売りします

市有地公売の申込期間内に申し込みがなかった市有地を先着順で売却します。詳しくはお問い合わせください。

●本庁舎財政課 内2335

成人式

●日時 平成26年1月12日(日) / 午後1時30分から

●会場 ▽白河地域 市民会館 ▽表郷地域 表郷庁舎 ▽大信地域 大信農村環境改善センター ▽東地域 東文化センター

●該当者 平成5年4月2日から平成6年4月1日までに生まれた方で、11月1日現在市内に住所を有する方。該当者には、案内状を送付します。※市外にお住まいで、白河市の成人式に出席を希望される方は、お申し込みください。

●本庁舎生涯学習スポーツ課 内2383 / 表郷教育振興課 ☎4782 / 大信公民館 ☎

住生活総合調査

国土交通省および県では、12月1日時点での「住生活総合調査」を実施します。

この調査は、住生活全般に関する実態や居住者の意向・満足度等を調査するものです。11月21日(木)から12月10日(火)までの間、統計調査員が調査対象となったお宅へ訪問しますので、ご協力をお願いいたします。

●対象 10月に実施した住宅・土地統計調査(総務省)に回答した世帯の中から、無作為に抽出された一部の世帯
●県土木部建築総室 ☎024152117520

まちかど伝言板

行政書士無料相談会

●日時 11月16日(出) / 午前10時〜午後3時 ※予約不要
●会場 大信庁舎
●内容 農地転用など土地利

④2511 / 東教育振興課 ☎3146

用、遺言、相続、成年後見制度など暮らしの困りごとに関する相談(秘密厳守)
●福島県行政書士会県南支部事務局(真船事務所内) ☎1100

マクロビオティック料理 研究家川内翔保子お話し

●日時 11月22日(金) / 午前10時〜正午
●会場 マイタウン白河(本町)
●内容 食がとくるからだの心とあなたの未来
●参加料 無料
●申し込み・問い合わせ先 NPO法人しらかわ市民活動支援会 ☎7595

しぜんとあそぼう

●日時 11月24日(日) / 午前10時30分〜午後3時
●会場 中央体育館(北中川原)
●内容 落ち葉のプール、松ぼっくりやどんぐりを使った工作、手作り雑貨等の販売
●参加料 無料 ※上履きを持参してください。

新そばまつり

●日時 11月23日(祝)・24日(日) / 午前10時〜午後3時
●会場 関の森公園(旗宿)
●内容 地粉の手打ちそばや農産物の販売、そば打ち体験
●旗宿そば生産組合 穂積 ☎3907

櫻井よしこ講演会

●日時 11月24日(日) / 午後3時から
●会場 ホテルサンルート白河(新白河駅前)
●内容 この国のかたちを考える―八重の桜と美しい日本―
●入場料 1,000円
●(財)立教志塾 ☎1427

新そばと落語

●日時 11月24日(日) / 午前11時から
●会場 大統寺(馬町)
●内容 ▽金原亭馬の助師匠の落語会 ▽浅草老舗「駒形

どぜう」主人のそば打ちと食事会
●定員 各60人
●参加料 無料
●申込期限 11月15日(金)まで
●大統寺 ☎2723

黒羽矯正展

●日時 11月23日(祝) / 午前9時〜午後3時
●会場 黒羽刑務所(栃木県大田原市)
●内容 刑務所内の見学、刑務所作業製品の展示・販売、給食の有料試食会など
●黒羽刑務所 ☎0287541198

こころんチャリテ イーアート展

●日時 11月23日(祝)・24日(日) / 午前10時〜午後5時 ※24日は午後4時まで
●会場 生活支援センターこころん(泉崎村下根岸)
●内容 作品展示・即売会、カラーセラピー、お茶会など
●入場料 無料
●社会福祉法人こころん ☎1115



『役人の心得』 白河市長 鈴木 和夫

霞ヶ関のキャリア官僚は一目置かれる存在だ。天下の秀才が情熱を持ち日々励む姿に、この集団がしっかりしていれば国は大丈夫との信頼がある。しかしこれも怪しくなってきた。経済産業省の官僚がブログに信じられない書き込みをしていた。「被災地はもともと減んでいた」「復興は不要だ」。数か月前には復興庁の役人が市民団体を「左翼のクソども」、ある町の議会を「笑っちゃうほどレベルの低い田舎議会」と罵倒した。品位のかけらもない低劣さに唖然とした。

二本松霞ヶ城の通用門前に、ある文字が自然石に刻まれている。「爾の俸、爾の禄は、民の膏、民の脂なり。下民は虐げ易きも、上天は欺き難し」。お前が頂く給料は、人々の汗と脂の結晶だ。それを忘れて人々を虐げるなら天罰が下るぞ。二本松戒石銘といわれる。名君の誉れ高い5代藩主丹羽高寛が、藩士の戒めとして刻ませた。20年ほど前、当時の市長がその拓本を全国の自治体に送り話題となった。私も昔頂き市長室に掲げてある。

警察庁長官を経た後、政界に転じた後藤田正晴という人がいた。中曽根内閣の官房長官を務めた。その存在は際立ち、ときに見解を異にする総理を説き伏せた。戦前の誤りを繰り返すまいと、国の隅々まで目を光らした国士だった。特に、官僚機構を掌握する力は群を抜いていた。後藤田

は終生この教えを胸に刻み、後輩の不祥事のたびに、その大事さを説いた。

日本の行政の精巧なシステムは世界に誇れる社会的資産だといわれる。これを担う公務員も、優秀で清潔。百年河清を待つに等しい、中国の腐敗と比べたら明白だ。私の知る霞ヶ関の役人は、よく働き使命感に満ちている。徹底して鍛えられ、深夜に及ぶ仕事もいとわない。経済面で恵まれているとはいえない。それに、近頃は横柄の文字が消えたと思えるほど、低姿勢。県には毎年、何人か国から出向してくる。若くして課長や部長の椅子につく。当然苦労はある筈だが、これを軽々と乗り越える。仕事の手際良さ。知事への説明のうまさ。議会への根回しの巧みさ。市町村や民間との人脈づくりのうまさ。楽しそうに振る舞う姿に、学ぶことは多かった。彼らにとっても地方の経験は貴重だ。直接県民の声を聴き、県や市町村の生の姿をみる事ができる。これが、国で法律をつくり、政策をたてるときに役立つ。この人たちは、国で重要な地位につき、福島のことを案じ様々な支援をしてきている。

暴言を吐いた人はよほどのうつつ屈を抱えていたのか、それとも病んでいたのか。ただ同情もある。あまりに忙しい。法律、政策や予算に命を削る。民間との利害調整もある。さらに国会が大変。政策への理解を求め何回も進講する。質問を受けると、議員と入念な打ち合わせを行い、大臣や局長の答弁をつくる。大災害ともなれば極めて迅速な対応を促される。加えて通常の業務が待つ。こうした負担が心をむしばんでいるのかもしれない。創造的な仕事にはゆとりがある。国家的な

ものであれば、深く掘り下げて考える時間はなおさら必要。もっと地方に任せるとか、国会の縛りを緩和するなどの改善策を考えるべきだ。

役人には心すべきことがある。役所は競争相手がいない。利益をあげ雇用を守る切迫感がなく、売上等の目標値も設定しにくい。ゆえに、いいサービス・施策を提供する意欲に欠ける。また公費を使う以上、失敗は許されないとする意識が強い。勢い、手堅く慎重になる。これが高じて「しくじって評価を落とすよりやらないほうがいい」となる。一方、職員を不当な圧力から守る身分保障が「やらなくても職を失うことはない」と逆に働いてしまふ。いつしか「休まず 遅れず 働かず」の文化ができあがった。

かつて、花王石鹸の常盤文克会長に、県産業センター顧問への就任をお願いした。浪江町の出身で名経営者の評価が高かった。会長はこう話された。私達は何百、何千という製品化を試み、やっとひとつのヒットにいきつく。失敗の山の上に成功がある。そうして会社を存続させる。しかし行政はやろうとしない。だから問題のありかが分らず、後手に回ると。耳が痛かったが核心をついていた。 常々、職員に「行政に評論家はいらぬ。できない理由を捜すのではなく、実現するためにどうするかを考える。仕事は追いかけるもの」と話している。今、日本は重く緊急な課題に直面している。行政に携わる者、特に住民に最も身近な市町村は、我々がやらねば誰がやるとの気概と、進取の精神が求められている。「沈香も焚かず 屁もひらず」はもう昔のこと。